

YAMANASHI  
DISCOVERY  
MAGAZINE

VOL.

14

2019

SPRING

山梨

てて

*teku-teku*

くく

| 特集 |

温泉の郷、山梨に  
癒やしを求めて



山梨

てて  
Teku-Teku  
くく

『山梨てくてく』は  
歩く速さでじっくりと

山梨の魅力を紹介していきます。

豊かな自然に恵まれ、多様な泉質を有する山梨の温泉は、

甲斐の国主・武田信玄はもとより、文豪や文化人の

癒やしの場、時には交流の場として親しまれ、

今日まで守られ、受け継がれてきました。

今回は個性豊かな温泉郷の魅力と

歴史をひもときながら『てくてく』。

こんな山梨があったんだ、と思える発見や感動を

見つけていただけたらと思います。



VOL. 14

CONTENTS

特集 | 温泉の郷、山梨に癒やしを求めて

03 山梨の温泉郷

04 湯けむりの向こうに悠久の歴史あり。

08 四季折々の風情とともに  
楽しめる温泉郷

10 千年の時を超え  
名湯が物語る幽玄の世界

12 温泉郷のゆったり気分  
に満たされながら  
新名物「ラーほー」  
を楽しんで。

14 母なる富士山に抱かれる温泉郷から  
山梨の魅力を発信

16 下部温泉駅  
「てくてく甲斐の国」

# 山梨の温泉郷

いしえ  
古から受け継がれてきた、  
そのゆかしき風情。

こんこんと湧きいづる源泉、

それは躍動する自然が与えてくれる恵み。

世界的にもまれな地質構造を有する山梨ならではの

多様な泉質の温泉は、いつもその時代を生きる人々と共にあった。

古から守られ、受け継がれてきた温泉郷、

そのゆかしき風情を訪ねて。



葛飾北斎《勝景奇覧 甲州湯村》江戸時代(東京国立博物館蔵)

# 湯けむりの向こうに 悠久の歴史あり。

日蓮聖人の時代には、湯治というスタイルが確立されていた

山梨は、4つのプレートが入り組む複雑な地質構造を有することから、多様な泉質の温泉に恵まれています。大きな温泉郷がないため、温泉県というイメージはあまりないのですが、実は山梨は日本でも有数の温泉の宝庫であり、大変古い歴史を有しています。温泉は人々の病や傷を癒やしたり、文化を育むサロンのような憩いの場でもあったりと、いつの世も人々の営みと共にありました。1300年を超える古い時代の伝説も語り継がれています。その中で正式な文献として残っているのが、建治4(1278)年に書かれた日蓮聖人の書状です。当時、身延山久遠寺を開山した日蓮聖人が蒙古襲来を予言したという名声を聞いて、一度会ってみたいと思っただ人々が久遠寺を訪れたそうです。ところがよく聞いてみると、下部温泉しもべに来たついでに興味本位で会いに来たということが分かり、多くの人々を追い返したという内容のもので、この文献から日蓮聖人の時代には下部温泉はかなり有名であり、湯治というスタイルで温泉を訪れる人がすでにいたことが裏付けられています。

## 武田家の御用温泉から 庶民の湯治場となった「湯村温泉」

戦国時代になると武田信玄や将兵たちが温泉で傷を癒やし、療養したとされていることから、武田家の領国内にあったいくつもの温泉が、後に「信玄の隠し湯」と呼ばれるようになり、ました。『甲陽軍鑑』では、天文17(1548)年、信濃塩尻峠(長野県)における合戦で負傷した武田信玄が、しまの湯(現在の湯村温泉)で湯治したと伝えられています。また川浦温泉には、永禄4(1561)年に武田信玄が、そこを管理していた恵林寺に宛てて、温泉施設の修繕のためのお金を集めることを許可したことが分かる資料が残っています。このようなエピソードが信玄の隠し湯伝説につながっていったと考えられています。

湯村温泉の歴史は古く、その起源についてはさまざまな伝承がありますが、記録としては16世紀前半ごろから現れ始めます。武田家は湯村に「御湯座敷」と称する施設を持っていたと記された古文書もあり、御用温泉的な役割を果たしていたと考えられています。京の公家なども利用していたとされ、湯治中には、武田氏の居館であった躑躅が崎館(現在の武田神社)で歌会が催されることもあるなど、湯村温泉は文化サロンのような存在でもあったようです。

武田家滅亡後も、歴代領主たちは湯村温泉の整備・保護に努め、時には幕閣の中核にある



昭和初期の湯村温泉(『写真集 山梨百年』より)(左) 昭和30年ごろの下部温泉(若林賢明氏 撮影)(右)

## 江戸時代における甲斐国内の主な温泉

温泉名	所在	起源・由緒など	効能
湯村	甲府市湯村	弘法大師などが発見、信玄・勝頼が入湯	瘡毒(そうどく)・皮膚(ひぜん)
黒平	甲府市御岳町	近世初期に発見、金桜神社が経営	冷え
御座石	斐崎市山野町	近世後期に整備、くみ湯専用	疝癪(せんしゃく)・火傷
湯島	早川町湯島	8~9世紀に発見、徳川家康が入湯	留飲・腹痛
下部	身延町下部	836年、熊野の神が出現して湧出、家康が入湯	打ち身・切り傷・でもの
川浦	山梨市三富川浦	1193年、源頼朝の巻狩がきっかけで発見	のぼせ・眼病・諸病
塩山	甲州市塩山上於曾	1380年、向嶽寺開山の僧・抜隊得勝が発見	冷え・痔疾(しじつ)・不妊



日蓮聖人立像(身延山奥之院)

寺社奉行も湯治に訪れました。ところが、享保9（1724）年に幕府直轄領となったことで領主不在となり、温泉の管理・運営は地元の人々の手に委ねられることになりました。庶民が運営・利用する湯治場となった湯村温泉は、城下近郊であったことや、平場のため季節を問わず利用できたことなどから、甲斐国随一の集客を誇りました。敷地内には牛馬専用の「野湯」と呼ばれる温泉もあり、農耕や運送に使っていた牛馬も入っていたそうで、当時、牛馬をととも大切にしていたことがかえります。

### 温泉はいつも

### 人々の近くにある憩いの場

山梨の温泉は冷泉が多く、盆地の暑い夏をしのぐのに適していました。現在は営業していませんが、かつて金峰山参詣客や甲府の人々に滞在型の温泉として親しまれた黒平温泉がありました。江戸時代の町人で旅籠屋を営む傍ら俳人としても知られていた鈴木調之の日記には、甲府の商家の旦那衆が商売が暇になる時期を見計らって、仲間と湯治と称して黒平温泉に滞在し、大宴会を繰り返したなどと記されています。旦那衆は7日間くらいを療治目的ではなく日常からの開放感に浸るための楽しみとして過ごし、家に帰ると今度は女性たちが、向嶽寺門前に湧出し、冷えや不妊などに効くと知られていた塩山温泉に湯治に向かったといわれています。



並山日記(山梨県立博物館蔵) 江戸時代の塩山温泉が描かれている



昭和初期の塩山温泉(『写真集 山梨百年』より)

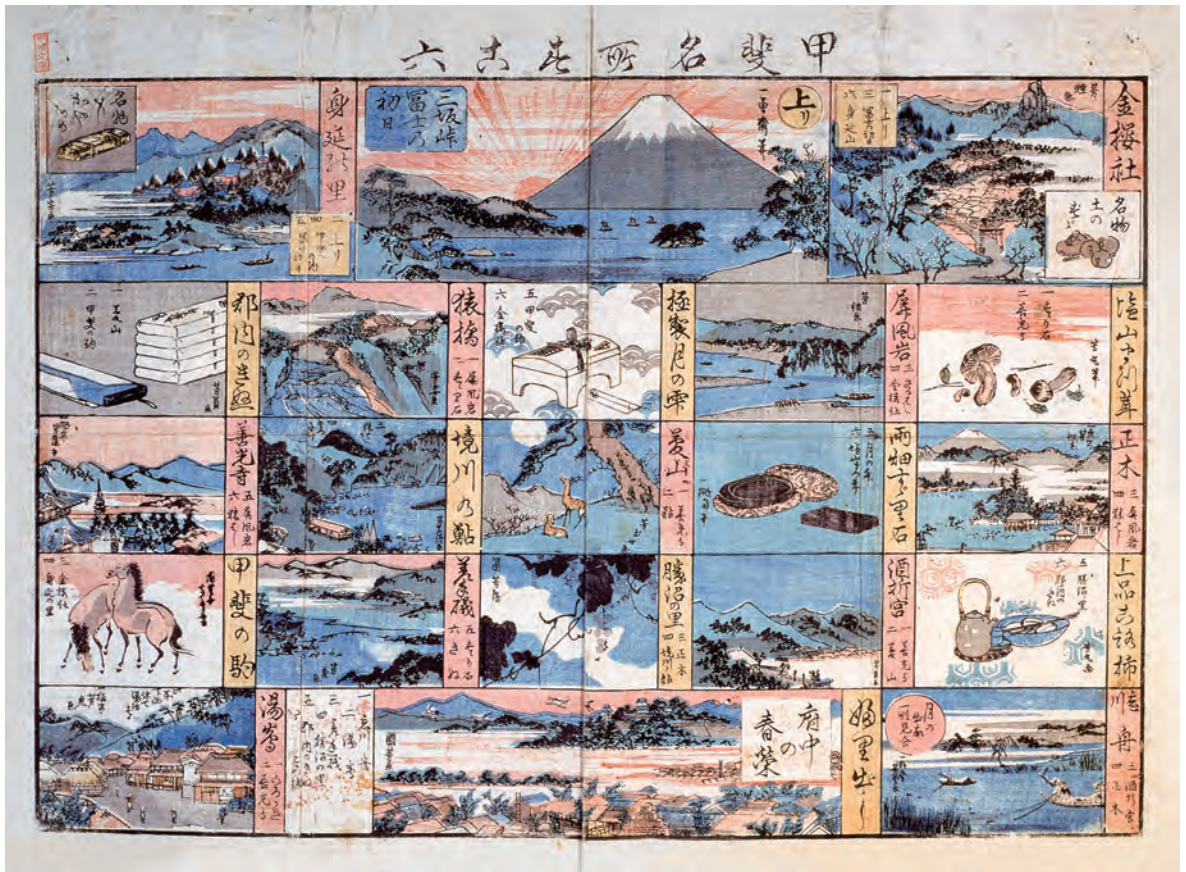
温泉場の大衆化はさらに進み、温泉の効能も口づてに広がっていきました。そんな中で町中の湯場は庶民の日々の楽しみ場になっていったのです。明治以降、例えば深町（現在の甲府市城東）では、湯場が次々と開業。夏になると農作業を終えた人たちが湯で汗を流し、おすしを食べて映画を見に行くのを楽しみにしていたそうです。湯場の周りには屋台が出て、ころてんや、枇杷葉湯（枇杷の葉などを煎じたハーブティーのようなもの）などが売られていて、湯上り客が浴衣姿で世間話をしたり、将棋を指したりしていました。また、隣接する料理屋の2階広間では義太夫や笛・尺八を披露し合うなど、湯場は夏の庶民の楽しみ場として大層にぎわったようです。

このように温泉場の大衆化が進む一方で、県内の閑静な温泉郷は、太宰治ら文豪たちの創作意欲をかき立てる文化創造の場となっていました。山梨各地の温泉はそのひなびた風情や豊かな自然が文学と融合し多くの文豪に愛されたようです。

これからも温泉は人々を癒やし

歴史を重ねていく

昭和36（1961）年には石和温泉が湧出しました。果樹園から噴き出した湯は近くの川に流れ込み、地元の人々に「青空温泉」として親しまれました。やがて、都心からのアクセスの良



甲斐名所寿古六(山梨県立博物館蔵) 幕末の甲州の名所や特産が分かる貴重な資料。左下に当時の湯村温泉が描かれている



昭和36年ごろ、「青空温泉」として親しまれていた石和温泉  
 (『写真集 山梨百年』より)

さから高度経済成長の中で発展して歓楽街もにぎわいました。昭和の懐かしさが残るレトロな歓楽街は、今では石和温泉の味わいの一つとなっています。

山梨にはまだまだ個性的な温泉が数多くあり、その泉質や景色、地元ならではの味や人情に触れられる場となっています。湯けむりの向こうに広がる歴史ロマンを感じながら、湯の町の情緒に触れてみてはいかがでしょうか。

# 四季折々の風情とともに 楽しめる温泉郷



日本列島のほぼ真ん中に位置する山梨県は、フィリピン海プレート、太平洋プレート、北アメリカプレート、ユーラシアプレートの4つのプレートがぶつかり合い、世界的にもまれな地質構造を有する地域です。これが、酸性泉、強アルカリ性泉、ラジウム温泉など、多様な泉質に富む理由と考えられています。

山梨県の温泉は、県内のほぼ全域に分布し、その標高も100mから1400m台まで及んでいることが特徴です。そのため四季折々の自然景観も素晴らしく、多様な泉質と相まって、どの温泉郷も特色ある魅力に溢れています。

## 湯村温泉郷

アクセス 甲府昭和ICから車約20分  
JR甲府駅からバス約15分

約1200年前に弘法大師によって開かれたと伝えられています。武田信玄の隠し湯ともいわれ、武田家の御用温泉的な役割を担いました。葛飾北斎の《勝景奇覧》にも「甲州湯村」として登場しています。太宰治や松本清張など文豪や文化人も多数逗留したことで知られています。高台から眺める甲府盆地の夜景は絶景です。



## 三富(川浦)温泉郷

アクセス 勝沼ICから車約50分  
JR山梨市駅からバス約40分

武田信玄の隠し湯といわれ、山間の秘湯の風情を感じながら歴史ロマンに浸ることができる温泉郷。笛吹川の上流に位置し、日本屈指の渓谷美を誇る西沢渓谷にも近く、大自然を満喫することができます。特に新緑と紅葉の季節の美しさは格別です。





## 石和温泉郷

アクセス 一宮御坂ICから車約20分  
JR石和温泉駅から徒歩約5分

昭和36(1961)年に果樹園から湧出した温泉は、都心からのアクセスも良く、一大温泉地へと成長しました。マイルドな名湯で親しみやすく、果樹王国やまなしの中心的地域でもあり、フルーツと温泉を満喫できるのも魅力です。春は桃の花で一面ピンク色に染まり、桃源郷の華やかな雰囲気に包まれます。



## 富士河口湖温泉郷

アクセス 河口湖ICから車約10分  
富士急行線河口湖駅から徒歩約20分

富士山の麓に湧き出した複数の源泉には、泉質や温度に違いがあるのが特徴です。春夏秋冬、それぞれの季節に彩られる富士山は、早朝から夕暮れへと刻々と美しく表情を変えていきます。湖畔を散策した後に、富士山を間近に仰ぎ見ながら入る温泉はまさに至福の時間。レジャー施設も多く、ファミリーも楽しめます。



## 増富ラジウム温泉峡

アクセス 須玉ICから車約40分  
JR韭崎駅からバス約60分

極めて高いラジウム含有量は世界有数で、戦国時代から武士の傷を癒やしたとの言い伝えもある秘湯です。効能の高さから古くから湯治場として栄え、ひなびた風情も味わい深く、多くの文化人も訪れました。標高1000mの山奥にあり、日本百名山の瑞牆山(標高2230m)にも近いので、登山と温泉を楽しむことができます。



## 西山温泉郷

アクセス 六郷ICから車約60分  
JR身延駅からバス約90分

南アルプスの山の奥深い早川上流にある秘湯。今から約1300年前に開湯したとされる名湯では、武田信玄や徳川家康も湯あみしたと伝えられています。世界最古の旅館としてギネス認定を受けた宿がある温泉郷は、豊かな自然の懐の中で、しっかりと落ち着いた日本情緒を感じられる場所として訪れる人を癒やしています。



## 下部温泉郷

アクセス 六郷ICから車約20分  
JR下部温泉駅から徒歩約10分

約1300年前に発見され、けがや胃腸病によく効くことから、武田信玄もこの湯で傷を癒やしたと伝えられています。湧き出る鉱泉はかつて薬として売られていた時代もあり、飲用効果の高さも有名です。信玄の隠し金山といわれる史跡や夏のホテルなど、見どころや自然も豊富で、古き良き雰囲気が漂います。





意匠を凝らした特別客室

## 千年の時を超え 名湯が物語る幽玄の世界

ここに世界で  
最も古い歴史を持つ宿がある。

### 西山温泉 慶雲館

早川町西山温泉 / TEL.0556-48-2111

天文15年正月、武田家重臣の穴山梅雪が奉納した「どら(銅鑪)」  
武田家より寄贈されたこのどらは、家宝として代々受け継がれてきた(右)



『世界で最も古い歴史を持つ宿』として  
ギネス認定

「慶雲館の歴史は、慶雲2(705)年に藤原鎌足の長男である藤原真人が狩猟の途中に源泉を発見したことから始まります。真人が険しい山中に道を開き、湯つぼを造らせたことが西山温泉の起源とされ、以来、病に苦しむ人などが湯治に訪れるようになりまし。天文年間には武田信玄も訪れたといわれ、天文15(1546)年正月には、武田家重臣の穴山梅雪から当館の守護神湯王大権現に『どら(銅鑼)』が奉納されました。武田家より寄贈されたこの品は、家宝として代々受け継がれています。さらには徳川家康も入湯したとの言い伝えもあるなど、慶雲館は多くの名将たちに愛されてきました。平成23年に『世界で最も古い歴史を持つ宿』としてギネスに認定されましたが、ただ古いだけではなく、このような深い歴史の足跡があったからこそその認定であるうと思ひます」

この貴重な自然の恵みを  
守っていくのも

歴史ある温泉旅館としての務め

「古くから湯治場としてにぎわった西山温泉郷は、農作業が終わった後の娯楽の場であった時代もあり、人々は町からトロッコに乗ったり、山道を歩



ギネス認定書



高温で湯量も豊富な源泉



いたりして訪れていました。その数は年間5万人に上ったともいわれています。先代が湯治場から観光温泉旅館とすべく平成9年に全館をリニューアルして今日の慶雲館となりましたが、約1300年枯れることなく湧き続けた4本の自然湧出の源泉は受け継がれています。さらに、平成17年に旅館のすぐ隣を掘削し掘り当てた湯温52度、毎分1600リットル以上の自噴泉も加わり、加温・加水なしの源泉掛け流しになっています。『この湯を体が覚えている』とおっしゃるお客さまもいます。この源泉は自然の貴重な資源です。大切に守って次の時代につないでいくのも私どもの務めだと思っています。これからも歴史ある温泉旅館として、さりげない心遣いを大切にしながら、日本文化の素晴らしさをお客さまに感じ取っていただけるよう、心掛けてまいります」



西山温泉慶雲館 代表取締役社長  
53代目当主

川野 健治郎さん



## 温泉郷のゆったり気分に満たされながら 新名物「ラーほー」を楽しんで。

春日居びゅーほてる

デジタルマーケティングマネージャー 加藤 芳之 さん

「ラーほー」は平成30年に笛吹市が開発した新たなソウルフード。ラーメンと同じくらい気軽に多くの観光客や県民に、山梨の郷土料理「ほうとう」を楽しんでいただきたいという思いから生まれました。その魅力や、いかに観光に生かしていくかなどの思いを春日居びゅーほてるの加藤芳之さんに伺いました。

### みそ味の「ほうとう」が 装い新たにソウルフードとして誕生

「ラーほー」の基本レシピは、料理研究家の西本淑子さんが市の依頼を受け考案しました。基本レシピとして考案した「ラーほー」は、山梨県産のほうとう麺を使い、スープは「しょうゆ味」と「フォア風味」の2つ。今では各店舗が独自に研究を重ねたスープで提供しているので、それぞれのオリジナル「ラーほー」を楽しむことができます。

「当ホテルでは、開発後すぐに、夕食のバイキングの一品として提供を開始しました。ほうとうのような煮込む必要がなく、スピーディーにお出しできるメニューなので、お客さまにも気軽に楽しんでいただくことができ、地元の方々はもちろん、県外からのお客さまやお子さま連れの方にもご好評をいただいています。

また、日本らしさを感じるみそ味の『ほうとう』も人気がありますが、海外でも日本のラーメンはブームとなっているので、しょうゆ味のスープを使った『ラーほー』は、海外からのお客さまに受け入れられやすいように感じます」

### 温泉と「ラーほー」で 旅をもっと楽しいものに

「最近では、ほうとうは食べたことがあるけれど、新たな『ラーほー』が食べてみたいからと、『ラーほー』の目的で来てくださるお客さまが増えてきたのもうれいんです。宿泊施設で食べられるのは当ホテルだけですが、市内22の飲食店でも食べられるほか、土産として購入できる店舗もあります。温泉で日ごらの疲れを癒やし、『ラーほー』を召し上がってみてはいかがですか。食べ歩いてみるのも楽しい旅の思い出になると思います」

### Information

春日居びゅーほてるでは、夕食のバイキングで「ラーほー」を提供。また、笛吹市観光物産連盟のウェブサイト「ふえふき観光ナビ」では、市内の「ラーほー提供店舗」を紹介している。



石和・春日居温泉郷  
春日居びゅーほてる

笛吹市春日居町鎮目178  
TEL.0553-26-3811





## 母なる富士山に 抱かれる温泉郷から 山梨の魅力を発信

大池ホテル 若女将

渡邊 真衣さん

移住先／富士河口湖町

心理カウンセラーを目指していた渡邊真衣さんが若女将となったのは、学生時代にご主人と出会ったご縁が始まり。「好きになった人が温泉旅館の跡取りだったんです」とほほ笑みます。石川県の老舗旅館での修業を経て、5年前から若女将の道を歩み始めた真衣さんは、おおらかで、相手を優しく包み込むようなすてきな人柄です。

「富士河口湖町は自然が豊かで、私の出身地である鳥取県と雰囲気似ていると感じました。それに何と云っても富士山の素晴らしさに圧倒されて…。富士山は本当に唯一無二の存在だと実感したんです。移り住んで間もなく身ごもった時に『富士山はお母さんみたいだな』と感じました。富士山から湧き出るきれいで豊かな水は、まるで母親から胎児に与えられる栄養のよう。私たちは富士山というお母さんに生まれ、その中に暮らしているのだと気づき、それから私にとって富士山は『母なる存在』になりました」

真衣さんは山梨の地場産業の魅力発信にも力を入れています。

「最近思うことは、やはり地域とつながってこそその旅館だということです。私はこちらに来て初めて、山梨にワイ

## — 山梨への移住相談はこちらへ — やまなし暮らし支援センター

専門相談員が常駐し、山梨への移住や就職について、ワンストップでお手伝い。移住セミナーや各種イベントも開催しています。

### ■山梨県中北地域合同移住セミナー「山から街まで」

自治体職員や相談員による地域情報の提供や個別相談などを行います。

[東京開催] 3/17(日) …………… NPOふるさと回帰支援センター

東京都千代田区有楽町2-10-1

東京交通会館8F NPOふるさと回帰支援センター内

TEL.03-6273-4306 FAX.03-6273-4307

E-mail:yamanashi@furusatokaiki.net

利用時間:火~日曜日 10:00~18:00

やまなし暮らし 検索



富士山の雄大な姿がすぐそこに…。国内外から訪れたお客さまに感動と癒やしを提供する富士河口湖温泉郷



真衣さんは旅館のホームページからも「ヤマナシ発信所」の情報を伝え、県産品の魅力や、自身の思いを発信



富士河口湖温泉郷 大池ホテル  
2019年4月 リニューアルオープン

富士河口湖町船津6713-103  
TEL.0555-72-2563

※大池ホテルは改装工事のため  
3月末まで休館しています。

ンや織物、和紙などの素晴らしい地場産業があることや、伝統を守りながらも、さらに新しい技術や感性を取り入れた取り組みをしている方々がいらっしやることも知りました。このような山梨の魅力を国内外からいらしたお客さまに知っていただき、すてきな県産品に出合ってもらうために旅館は絶好の場所だと感じたのです」

山梨の魅力をたくさんの人に伝えたいという思いで売店の一角に設けた「ヤマナシ発信所」。そこは、真衣さんが「山梨の文化であり遺産」と感じた県産品を紹介するコーナーです。

「最近では、産地について学び、山梨から世界に向けて活躍する方々と交流できることをとてもうれしく感じています。お客さまに対しても、山梨の魅力をより深く知っていただく機会として、ワイナリーや機織りの方を招いたイベントを開催していきたいです。これからも『ホッと一息つける宿』をコンセプトに、人と人、地域と人のつながりを大切にしながら、みんなの心が通じ合うような場にしたいたいと思っています」

街道の駅からの小さな旅

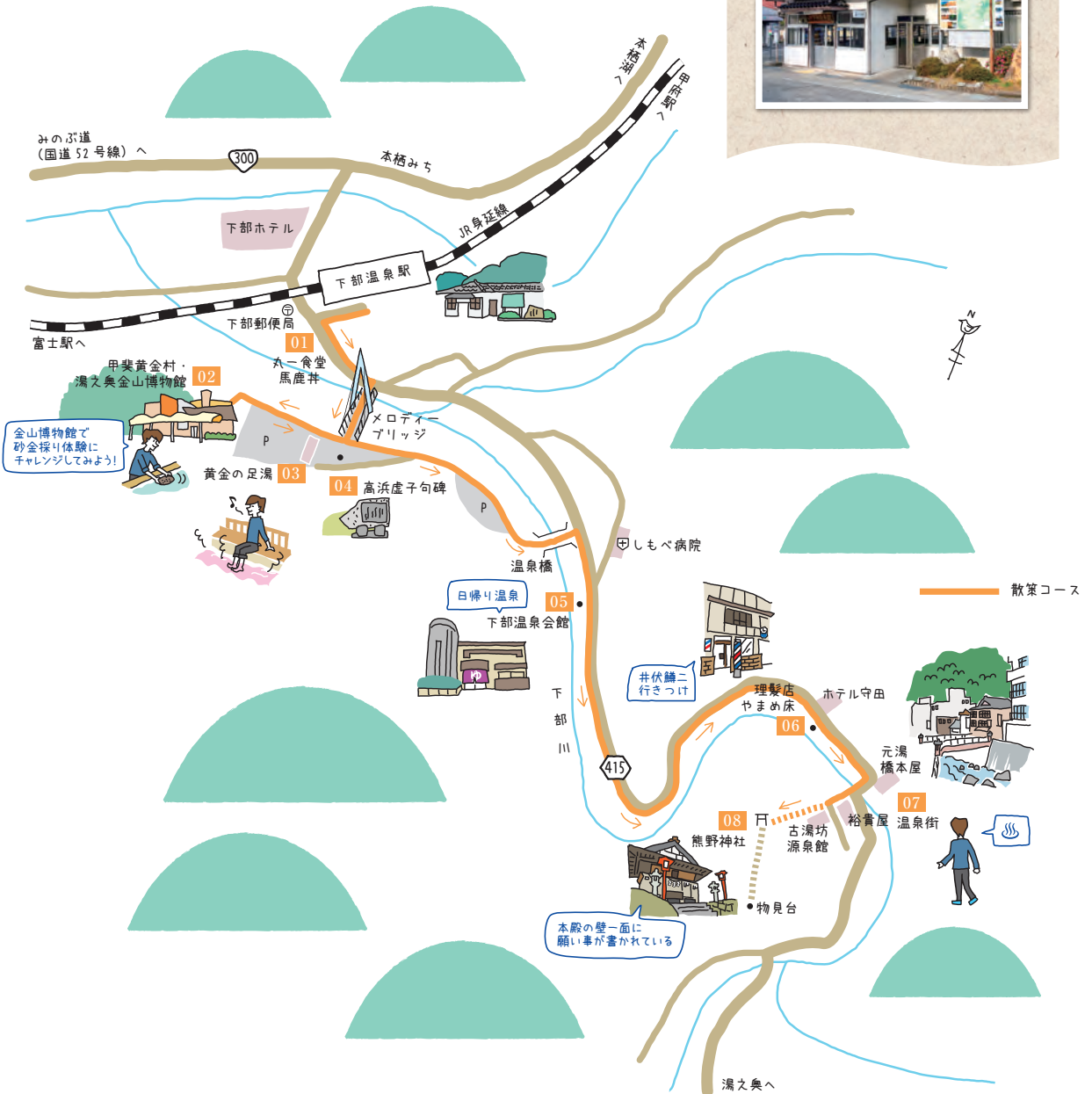
てくてくてくてくてくて

甲斐のくに

—第14駅—下部温泉駅



下部温泉郷は、下部川沿いにある古くからの温泉街。  
周囲に連なる山々と清流が織りなす風景の中に溶け込む  
古き良き湯治場の風情を味わいながら、  
気の向くままに散策する心安らぐひととき。  
文人たちの足跡や歴史文化に触れながら  
下部温泉郷をてくてくと…。





06



## 理髪店 やまめ床

先代はヤマメ釣りの名人として知られ、文豪井伏鱒二の釣りの師匠でもあった。40年以上の付き合いがあり、井伏作品にも登場している。「やまめ床」の名前も井伏が付けた。

07



## 温泉街

下部川に沿った山間の道沿いに軒を連ねる宿や店。古くから続く温泉地らしい落ち着きと情緒を感じながら歩きたい。この地に暮らす人々の温かな人情にも触れられる。

08



## 熊野神社

承和3(836)年創建で、現社殿は天正2(1574)年ごろに穴山信君により再建されたと伝えられている。湯治に訪れた人々が回復を祈願したり、治癒の感謝をさげたりするために参詣している。



てくてく  
歩きの  
途中で…

老舗旅館のおかみさんに出会いました。「歴史が長い温泉地ですから、宿やお店も古くからやっていて、家族のような温かなつながりがあるんです。この地の人たちが醸し出す雰囲気の良いさも下部温泉郷の魅力ですね。文豪らが滞在されたり、戦時中は疎開児童を受け入れたり、時代時代にさまざまな出来事がありました。訪れる人を心から大切にお迎えする気持ちは昔も今も同じです」と話してくれました。

01

## 馬鹿井(うまかどん)

地域の食の魅力をアピールする取り組み「身延とんがり街道」の一品として考案された丼。下部で古くから食べられている馬肉と、近年注目のジビエ、シカ肉は甘辛く炊かれている。駅近くの丸一食堂で食べられる。



02

## 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館

湯之奥金山遺跡からの出土資料や甲州金、各地の砂金を展示。映像シアターやジオラマなど、充実した内容で見応えがある。全国でも珍しい砂金採り体験もできる。



03

## 黄金の足湯

しもべ奥の湯高温源泉を引き込んだ足湯は源泉掛け流しで、加温や加水はしておらず、ほんのりとした硫黄の香りがする。無料で利用できるのが、散策の後に立ち寄るのもオススメ。



04

## 高浜虚子の句碑

下部温泉郷は俳人たちにも愛され、句会など文化的なイベントも開催された。高浜虚子もこの地を訪れていて、その時に詠んだ句が刻まれている。



05

## 下部温泉会館

下部温泉郷唯一の公共温泉施設。浴室の窓からは下部川の渓谷美を眺められる。日帰り入浴ができ、気軽に温泉気分を味わえる。



# 下部温泉郷

いつの時代も人々は、このいで湯に心を寄せた





下部川沿いの緩やかな坂道に沿って、軒を連ねる温泉宿。懐かしさを感じる看板を掲げる商店も、湯の町らしい風情を今に残している。かつて文豪や文化人たちがこの地を訪れ、その湯で体を癒やし、四季折々の景観を愛でた。また、ある時は釣り糸を垂れ、自然の恵みに舌鼓を打った。約1300年の歴史を持つといわれている下部温泉郷。受け継がれる湯の町の歴史はこれからも続いていく。それは、湧きいづる湯のごとく、絶え間ない温もりとともに。



## 山梨へは中央線の特急列車どうぞ!

主な停車駅

新宿

立川

八王子

大月

塩山

山梨市

石和温泉

甲府



特急列車のご予約は「えきねっと」で!



詳しくはホームページをご覧ください。



[www.eki-net.com](http://www.eki-net.com)

- パソコン・スマホからラクラク簡単予約!
- 指定席が発売開始日のさらに1週間前から事前受付OK!
- 指定席券売機でスムーズにお受取り!

※一部の列車や一部の区間は「えきねっと」でお取扱いしておりません。  
 ※乗車日の1ヶ月+1週間前から指定席を事前に申し込むことができます。実際の発売手配は乗車日1ヶ月前の午前10時からとなります。  
 ※満席等の理由により、座席をご用意できない場合があります。※運転日や運転時刻、停車駅などは事前にご確認ください。  
 ※掲載内容は2019年1月現在の情報です。ご利用の際はホームページなどで最新情報をご確認ください。※路線図や写真はイメージです。



山梨 **てくてく** *Te-ku-te-ku*  
 VOL.14 | 2019 SPRING

平成31年2月1日[季刊]  
 第14巻春号



やまなし森の印刷紙  
 この印刷紙には、  
 FSC®森林管理認証を  
 取得した山梨県有林からの  
 木材が使用されています。

# 山梨県

山梨県広聴広報課 発行 〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1  
 TEL. 055-223-1339 FAX. 055-223-1525 制作 山梨日日新聞社